

## 令和にふりかえる日本の青春文学

講師：関西大学名誉教授・日本文藝家協会会員鶴飼康東

講座タイプ：公開講座

初回講座日 2021/04/08

コース 2021年4/8、5/13、6/10のいずれも第2木曜13:30~15:00

受講料 全3回7,590円

開催地 大阪

今年、令和3年(西暦2021年)は明治154年に当たります。驚天動地の徳川幕府崩壊を経て、明治、大正、昭和、平成、令和と五代にわたり生きのびてきた「工業国家・日本」の青春を華やかに彩った三人の文豪を思想・文学・政治・経済の観点から振り返りましょう。

まず、彼らの衝撃の文壇デビューを語ります。次に、この三人の青年文学者のデビュー作品が現代日本の文学や思想に与えた影響を経済学者であり文学者である講師がやさしく解説します。

- ① 4/8(木) 森鷗外と小説『舞姫』
- ② 5/13(木) 島崎藤村と詩集『若菜集』
- ③ 6/10(木) 正岡子規と随筆『墨汁一滴』

電話でのお申し込みは 06-6346-8700 へ

